

地区ローターアクト委員長 辻本 一義 (東大阪RC)

今年度の第2回ローターアクト正副委員長会議が、去る3月1日(土)に、薬業年金会館601号室において、ガバナー・ノミニ大谷透氏のご出席を得て午後1時から4時まで開催され、各RAC(ローターアクトクラブ)の活動内容の実態がよく理解できる充実した内容でした。

現在、当地区ではRACは21クラブが存在し、複数RCが提唱するRACが2クラブあるため、提唱しRACを運営しているのは24のRCです。最近の当正副委員長会議は、RACの提唱RCだけではなく、RACを提唱していない62RCの青少年担当正副委員長の方々にも参加を呼びかけ、地区内の全RCにより行っております。

まず、出席者の紹介に引き続き委員長の挨拶と活動報告を行い、続いて出席していたRACメンバー6名が自己紹介と、今期の活動報告を行いました。

続いて、現在地区委員会で検討している、未提唱クラブにローターアクト活動に参画してもらうためのサポートシステムの説明と提案を行いました。このシステムは、後日、各クラブにさらに具体的にお知らせする予

定ですが、IM毎に提唱クラブに対して、未提唱クラブがRACメンバーの紹介をしたりRACの一部例会や行事に参加できる様な配慮をしたものです。

さらに、会議に出席されていた提唱全クラブが、RACの活動報告や運営上の問題提起を、一人5分以内で行いました。

この中にはいろんな事柄の説明がありましたが、ここにその一部をご紹介します。

- RACの会員数の確保に苦慮している。増強しても30歳の定年、結婚、転勤などが原因で数年で3~4名以下に減少することがある。
- 例会がRACメンバー2~3名で、ロータリアンの方が多いことがある。
- RCメンバーとRACの交流を密にするために、合同例会やRCの行事にRACメンバーの参加を多くする様に配慮している。
- 企業派遣のRACメンバーについては、積極的な活動をするとの意見と、形だけで実質的な活動に後ろ向きであるとの、相反する意見があった。

